

「まもる」に属する施策の事前評価・意見

基本政策：命をまもる

No	施策名	評価	意見
4-1	防災対策等の強化	B	津波避難施設整備、地区別津波避難計画策定は着実に進んでいるが市のBCP策定が遅れている。早急な策定が必要。
		BとCの間？	情報不足 津波避難施設：29年度整備予定数は？ 構想段階、基本設計、実施設計段階に入っている箇所数は？ 本年度のBCP策定事業、津波避難計画の進捗状況（着手状況・体制、地区数）は？
4-2	消防・救急体制の充実	B	小中学生を対象とした教育・啓発は重要だが、現実的な住宅用火災警報器設置率の向上と維持管理に対する啓発を徹底することが急務。
		BとCの間？	情報不足 移動消防車の今年度の進捗状況は？ 火災報知器の設置調査の方法は？ 予算0円で実施？ 災害応急活動支援システムH29予算ゼロで実施できるのか？ 防災ラジオの配布対象は？ 配布効果の最大化を図る対象の絞り込みはあるのか？
4-3	医療環境の充実	A	夜間休日における診療体制は「実施」できることが当たり前であり、それが事業目標ではない。また共同診療登録医が増えたことによる効果の測定が必要。
		BとCの間？	情報不足 アウトカム指標を出してほしい。休日診療所の受診患者数、共同診療登録医のアンケート調査の結果から改善された事項、電子カルテの閲覧件数など。

基本政策：暮らしをまもる

No	施策名	評価	意見
5-1	安心して暮らせる市民生活の向上	B	防犯灯のLED化と設置数増加は目標達成できている。消費者問題や交通安全の講座は受講者の高齢化が進んでおり、運営に工夫が求められる。
		C	消費者講習、高齢者交通安全講習などターゲットへの訴求性を向上する改善が必要でないか。
5-2	住宅環境の整備	C	避難路沿いの建物の耐震化推進が遅れており、目標達成できていない。県や関係機関と連携し、集中的に人と予算を投入し、推進することが重要。
		C	市営住宅供給戸数については特定とその他に分けて管理すべきでないか。空き家対策については、措置法に加えて敷地活用方針についても検討願いたい。 バリアフリー対応住宅建設戸数はストック値？フロー値？
5-3	生活道路の整備	B	市道の改良率、電線類の地中化、みちピカ事業の進捗は順調である。しかし、橋りょうの耐震化が不十分であり財源等の課題の解決がカギとなる。
		C	自転車環境、道路ストックマネジメントなど必要な事業に予算配分されていない。
5-4	上水道の整備	B	水道利用に対する市民の安心度は高く、上水道の普及率が高いことは評価できる。鉛製給水管と水道管の耐震化は喫緊の課題である。
		C	鉛製給水管の全数把握、解消完了目標は？ 水道管路の耐震化については重要度を踏まえた早期達成目標の設定が必要。水道ビジョンについては市民への周知、広報が重要であり、現状の広報等を進めること。

基本政策：環境をまもる

No	施策名	評価	意見
6-1	環境の保全と向上	A	自然環境に対する市民満足度は高く、環境基準もおおむね達成できている。温暖化防止のための市民の意識改革には思い切った工夫、改善が必要。
		BとCの間？	情報不足 指標をアウトカム化すること。環境基本計画の目標達成度、環境調査の結果（達成率など）、省エネや新エネルギーの指標についても基本計画の進捗指標から適切な総合指標とすべき。
6-2	循環型社会・廃棄物処理の推進	B	市民一人当たりのごみ排出量は、改善されているものの、なお一層の努力が求められる。リサイクル率をアップする為に、資源別の分かりやすい取組みの工夫が大切。
		C	家庭用生ゴミ処理機については購入補助件数がゴミ排出抑制に結びついているのか？利用実態の把握、見直しが必要でないか？ リサイクル率の向上も不十分ではないか？
6-3	生活環境の向上	B	不法投棄の減少やポイ捨て防止の啓発は効果を上げている。しかし、狂犬病の予防接種率が微減していることは問題。
		C	不法投棄通報件数にはパトロールによる発見件数も含まれるのか？パトロール強化により発見、改善施策の実施件数を明確にすべきでないか？ポイ捨てについてもパトロールによる視認件数を把握して事業効果を把握すべきでないか？
6-4	下水道の整備	B	汚水処理人口普及率は増加し、地域における清掃活動も定着している。浸水対策は地域性や優先順位を勘案した着実な推進が望まれる。
		C	汚水処理、浸水対策の達成率の向上度が小さいので、重要度を考慮した短期的目標を設定して事業管理をすべきでは？ 河川・排水路の清掃について、参加者1名あたり4000円の経費に見合った成果があるのか、成果の確認方法はあるのか？